

経済・金融 フラッシュ

ユーロ圏消費者物価(22年3月) —前月比 2.5%、前年比 7.5%と急加速

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

1. 結果の概要:総合指数は7%台、コア指数は3%台へ

4月1日、欧州委員会統計局(Eurostat)は3月のユーロ圏のHICP(Harmonized Indices of Consumer Prices:EU基準の消費者物価指数)速報値を公表し、結果は以下の通りとなった。

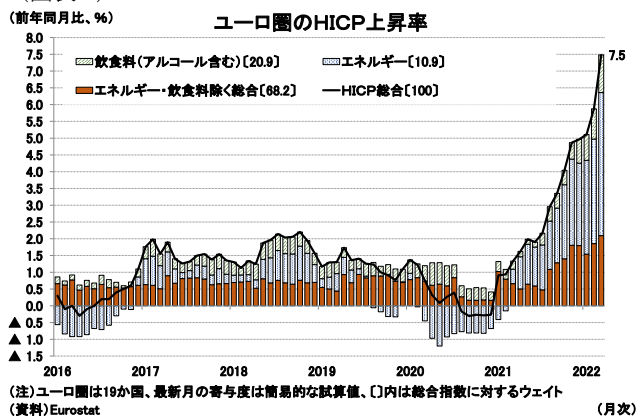
【総合指数】

- ・前年同月比は7.5%、市場予想¹(6.7%)を上回り、前月(5.9%)から加速(図表1)
- ・前月比は2.5%、予想(1.8%)を上回り、前月(0.9%)からは加速

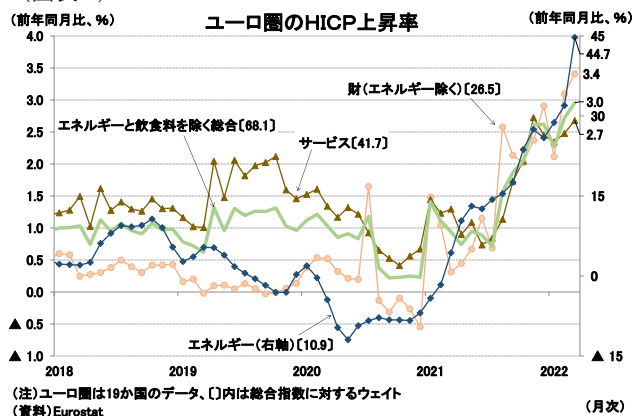
【総合指数からエネルギーと飲食料を除いた指数²】

- ・前年同月比は3.0%、予想(3.1%)を下回ったが、前月(2.7%)からは加速した(図表2)
- ・前月比は1.2%、前月(0.5%)から加速した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:エネルギー価格は前月比2桁の上昇率に

22年3月のHICP上昇率(前年同月比)は全体で7.5%となり、前月の5.9%から大幅に加速、市場予想も大きく上回り、5か月連続で最も高い伸び率を更新した。「コア部分(=エネルギーと飲食料を除く総合)」は3.0%で市場予想をわずかに下回ったが、前月(2.7%)からは加速して2か月連続で最も高い伸び率を更新した。3月はロシアのウクライナ侵攻後の統計であり、以下で見る調に供給懸念がエネルギー・食料品(特に未加工食品)へのインフレ率圧力を強めたものと見られ

¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

² 日本の消費者物価指数のコアコアCPI、米国の消費者物価指数のコアCPIに相当するもの。ただし、ユーロ圏の指数はアルコール飲料も除いており、日本のコアコアCPIや米国のコアCPIとは若干定義が異なる。

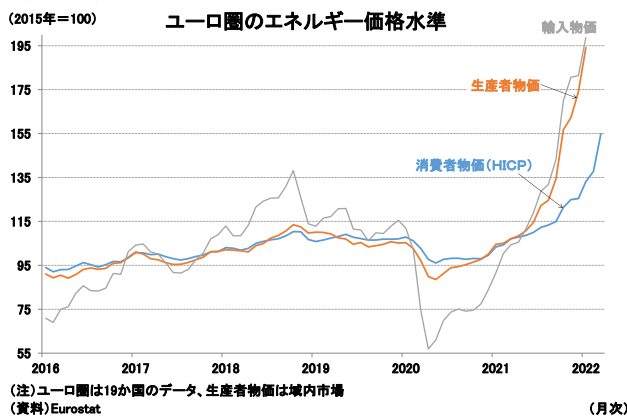
る。また、コア以外の飲食料（アルコール含む）、財、サービスの物価上昇圧力も引き続き強い。

以下、詳細を「コア部分」「エネルギー」「飲食料（アルコール含む）」の3つに分けて見ていく。

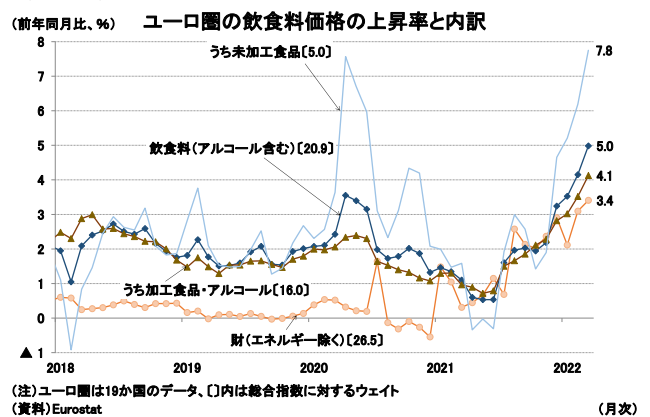
まず、コア部分の「エネルギーと飲食料を除く総合」の内訳を見ると、「エネルギーを除く財（飲食料も除く）」は1月2.1%→2月3.1%→3月3.4%と3%超の伸び率が続く。「サービス」（エネルギーを除く）も1月2.3%→2月2.5%→3月2.7%と加速が続いている（図表3）。品目別には2月までのデータであるが、娯楽業が1月2.8%→2月3.1%、外食・宿泊業が1月4.1%→2月4.4%と対面サービス産業の上昇傾向が続くほか、家具も1月2.8%→2月3.8%と伸び率を高めた。

コア以外の部分では「エネルギー」が前年同月比で1月28.8%→2月32.0%→3月44.7%と40%を超えた。前月比では3月は12.5%（2月は同3.4%）と、単月で2桁の伸び率となり、高騰する資源価格を受けた急上昇が見られる（図表3）。前年同期比の寄与度は4.27%ポイント程度（2月は3.12%ポイント）でエネルギーが全体の伸び率の過半を占める状況が続いている（前掲図表1・2）。

（図表3）

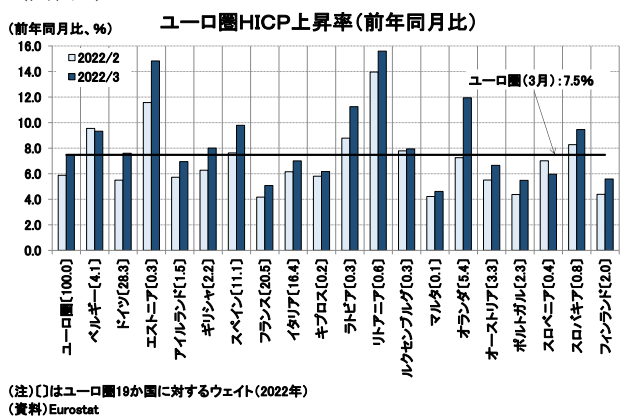


（図表4）

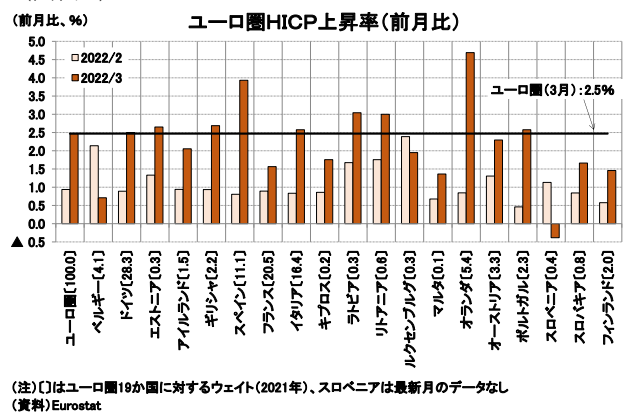


「飲食料（アルコール含む）」は、前年同月比で5.0%（2月4.2%）となった。飲食料のうち加工食品の伸び率は4.1%（2月3.5%）、未加工食品は7.8%（2月6.2%）でいずれも伸び率が大幅に加速している（図表4）。飲食料の前年同期比寄与度も1.12%ポイント程度（2月は0.90%ポイント）となり、1%ポイントを超えた。

（図表5）



（図表6）



国別のHICP上昇率では、3月は前年同月比で19か国中ベルギーとスロベニア以外の国が2月から加速した（図表5）。前月比では19か国中スロベニアを除く国がプラスの伸び率となっており、このうち11か国は2%以上、4か国が3%以上の伸び率を記録、3月単月で顕著に上昇した国が目立った（図表6）。

（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。